



第14回 少年の主張発表会 伸びよう伸ばそう青少年

「村民の青少年健全育成に対する関心を高め、理解を深めてもらおう」と先月6日、「第14回少年の主張発表会」が公民館講堂において開催されました。

当日は、柏木助役が「親子の会話・心の交流を大切に」と、和田村議会議長が「民主主義の原則は多数決。自分の考えを相手に伝え、理解してもらうことは大人でも大変なこと。今のうちから自分の主張を発表することは大切」とそれぞれ激励の言葉を述べた後、子供たちの発表が行われました。

会場に詰めかけた家族やクラスメートの前で、代表に選ばれた11名は皆、堂々と発表を行いました。

今年の発表には、昨今の社会情勢を反映してか、「いじめ問題」を取り上げた者が何人かおり、岩室中学校を代表して郡大会に出場した堀越奈央さんの主張も、「いじめは永遠の課題」と題した発表でした。

なお、今回紹介するのは、発表するにあたっての感想や主張内容等を発表者から要約して書いていただいたものに、当日発表した内容の一部を加筆したものです。

緑を大切に

(和納小・六年)

村井 春奈さん

今、地球上から緑(植物)が失われ、さばくのような状態になってしまっている所がたくさんあります。

緑には、空気をきれいにし、水をたくわえるという作用があります。もし、このまま緑が減り続けたら、いったい地球はどうなるのでしょうか。

緑がなくならないようにするために、私たちにもできることがあります。

例えば、

①緑をなくさない
紙のむだづかいはなくす(一人ひとり気がつける)

②緑を増やす
緑の羽根共同募金に協力したり
グリーンマーク集めを行う
などです。

「緑のたくさんある、きれいな地球」を大切にしましょう。



岩室温泉病院の 患者さんとの 交流会をとおして

(岩室小・六年)

池田 慶子さん



「どうしてこんな行事があるのかな?」と、疑問を感じつつ参加した岩室温泉病院の患者さんとの交流会。

ゲームや音楽発表で見た患者さんのうれしそうな様子や感激の涙に、私の気持ちは「はげますことができた!」という喜びに変わっていききました。

私はこの交流会をとおして、ボランティア活動を理解し、いろいろな人との交流を深めたり、進んで役立つことをしたりしていきたいと思いました。

また、交流会だけでなく海岸のゴミ拾いのボランティアなどもあると聞きました。私はこうした活動を十年、二十年と続けていきたいと思えます。

お年寄り とのふれあい

(間瀬小・六年)

幸村 美帆さん

間瀬小学校・地区合同運動会では、お年寄りが一番はりきっています。ですから、もっとお年寄りや運動が多くなったらいいなと思います。

また間瀬には、「七夕ふれあい発表会」といって、毎年一回間瀬の寿学級生とご飯を食べたりげきを見たり、みんなでプレゼントを交かんしたりする楽しい日があります。この会が寿学級生だけでなく、いろいろなお年寄りも参加できるようになればいいと思います。

でも、こうした会のおきだけでなく、普段からふれあいは持てると思います。たとえば病気の人のお見舞いやひとり暮らし老人を訪問したり……。そうすれば、老人からいろいろな話が聞けるかもしれないし、ふれあいがますます深まると思えます。



相手の 気持ちを考えて

(和納小・六年)

土田江梨子さん



何げない一言で心が傷ついてしまったという経験はあると思うのですが、逆に、自分の言葉で相手を傷つけてしまっているということには、意外と気づいていないことが多いものです。

私も、自分が気にしている髪の毛のことを言われて、傷ついたことがありますし、また、友人から「あなたに以前いじめられたことがある」と言われて、おどろいたこともあります。

一人ひとりのちよつとした心づかいで、お互い気持ちよく生活できるといいです。

相手が気にしていることは、絶対にいわず、相手に言われても言い返さないようにしましょう。

人につたえる

(岩室小・六年)

川崎 俊介くん

ぼくは大きくなったら、ラジオのスポーツアナウンサーになりたいと思っています。

それはなぜかというと、ぼくの大好きなサッカーや野球、F1などのスポーツのすばらしさを、より多くの人に知ってもらいたいからです。そしてぼくの声で、落ちこんでいる人やがっかりしている人を励ましてやりたいからです。

では、なぜテレビではなくラジオのアナウンサーなのかというと、ラジオは映像がないので、テレビよりも詳しく話さないと伝わらないからです。

ぼくにとってアナウンサーは、限りなく広がる可能性を秘めた仕事です。そのために、ぼくは努力を惜しまず、夢の実現を目指します。

